

## 平成26年度みえの現場・すこいやんかトーク テーマ編（大学生） の概要【速報版】

7月4日（金）に津市でみえの現場・すこいやんかトーク テーマ編（大学生）を開催しました。

当日は、平成25年度ベストプラクティスコンテストでオーディエンス大賞を受賞した「地域で頑張る企業・NPOを“つたえ”“つなげる”学生レポーター『ガクレポ』」の皆さんに、学生の活動を支えている社会人（大学関係者及び雑誌編集者）を加えた8名にお集まりいただき、皆さんと知事が「若者の学ぶ場、活躍する場」等についてトークを行いました。



### 【参加者からの発言】

参加者の皆さんから、以下のようなご意見をいただきました。

（「ガクレポ」の活動内容紹介）

○三重県をよくしたいと、県内で頑張る企業、NPOを取材し、若者視点から共感できる取組を発信することで、素敵な活動の場を広げ、つなげていくことに取り組んでいる。地元企業の魅力を発信することで、県内企業へ就職を希望する方が増えるのではないかと考えている。

**Q. 「ガクレポ」に参加して良かったこと（「ガクレポ」を支えている社会人の方は、学生の変化）についてお聞きしたい。**

○ベストプラクティスコンテストで多くの方から応援のコメントをいただいたり、記事を読んだ方に喜んでもらうことで、自分に自信を持てるようになった。

○企業、NPO、行政の方と出会うことで、学生としてもどんどん成長していけるのではないかと考えている。

○「ガクレポ」に入って、取材をするまでは、自分が緊張するタイプだとは思ってい

なかった。初めは自分の力のなさを痛感したが、取材を重ねていくたびに、緊張による手の震えは少なくなってきたので、成長を実感している。

○取材によって、企業やNPOの良いところを探す訓練ができていたので、就職活動において自己アピールを考える際は、自分の良いところを探す役に立った。

○私は、感情があまり表に出ない印象を持たれているが、記事を読んだ方から「すごく感受性が豊かな文章だ」と言っていたときは嬉しかった。

○「ガクレポ」では、受身で学ぶだけではなくて、自分たちが主体的になって活動していけるところがよかった。

(社会人の方のご意見)

○小さな成功体験によって、学生の自己肯定感を伸ばすことができると考えている。同時に、フラットな学生のみで企業やNPOの価値を発見し、発信することによって、企業やNPO側も、自分たちが本来持っている価値を自己認識することができると考えている。

○地域情報誌の編集の際、初めは社会人としてのハウレンソウができなかったり、レ spons が遅かったりしたが、回数を重ねるごとに改善されてきた。

#### **Q. 学生みなさんに、地域に貢献する活動にもっと関与してもらうにはどうすればよいか？**

○「ガクレポ」の活動の認知度を上げるとともに、他の大学でも参加する学生を増やして、支部をつくれれば、活動が広がって行くのではないかな。

○組織が大きくなってメンバーが増えたときでも、レポーターとして、自分たちの意識を高く持つとともに、スキルを上げることが重要である。スキルを上げるための勉強会については、外部の方にサポートしていただきたい。

○学生の団体だと信用性が低いと思われるので、知事又は県から公認をいただきたい。

○取材に行くというサイクルを止めず、サイクルを回し続けければ、他の学生とつながる可能性が大きくなると思う。

○地盤が固まった組織だと魅力的に見えるため、組織の地盤を固めることが大事だと思う。

○「ガクレポ」に参加することで、どんなメリットがあるのかを明確にしてPRする必要がある。

(社会人の方のご意見)

○今年度は、資金面の管理も含めて自分たちで意思決定できるよう体制づくりに取り組んでいる。今後は、卒業して県内企業や近隣県企業に就職した方に、コーチとしてサポートしてもらうことも考えている。

○企業やNPOが記事を書いてほしいと求めてくれることで、学生のモチベーションを高めることができ、さらに活動に関わっていきいたいという人が増えるのではないかな。そのためには、記事を発信する媒体が必要だし、記事の質も向上させる必要がある。

#### **Q. 最後に、知事に聞いてみたいことはないか。**

○政治家に興味を持っているが、どんなキャリアを積んでいけば政治家になれるかな？

(知事) どんなキャリアが限定しない方が、たくさんの多様な政治家が生まれて、国

民の方が幸せになると思う。

○発信媒体がないのが課題であり、資金面だけではないサポートを期待している。

（知事）発信媒体について、まずは、自分たちで営業する必要がある。もし、どうしてもうまくいかなければ、県に相談すればよい。資金面については、クラウドファンディングなどにチャレンジしても面白いと思う。

### 【知事の発言】

○緊張するタイプだとか、感情が表に出ないタイプだとかは気にする必要はない。自分が伝えたいことをしっかりと伝えることが大事である。

○「ガクレポ」に多くの学生が関わってもらうには、まずは、大学内の他の学部学科や他の学年の学生など、自分に近いところから誘うことが重要である。

○OB・OGを連綿とつなげていくことが、団体の活動を長く続けていくコツである。

○「ガクレポ」に対する県又は知事の公認については考えておく。

○今回参加していただいた学生の皆さんは、自分を信じて頑張っていくという気持や、自分たちが主体的に動いて、地域に貢献していきたいという思いが非常に強いと感じた。

○皆さんの活動が長く続いていくために、県としてもプラットフォームなどの環境整備でサポートしていきたい。



「ガクレポ」は、NPOと企業のパートナーシップを促進し、NPOと企業との協創による地域づくりを広げていくことを目的に設立された学生の団体で、三重大学と四日市大学の学生が「学生レポーター（ガクレポ）」となって三重県内の企業やNPOの取材を行い、若者視点から共感できる取組、魅力的と感じたことをホームページ等で発信しています。